

グループの SPEAK UP ポ リシー

2024年10月

グループの SPEAK UP ポリシ

2024年10月

はじめに

L'OCCITANE グループでは、当社の共通の価値観 [およびビジネス行動規範](#) が、日々の業務を行う上での行動の指針となっています。これらは、透明性、説明責任、誠実さの文化を促進しています。

Speak Up とは、コンプライアンス違反と思われる事項を会社に知らせ、会社がそれに対処できるようにすることです。当社のビジネス行動規範および/または法律/規制に違反する可能性のある行動を聞いたり見たりした場合は、コンプライアンス違反のおそれがあることを通報することが奨励されます。グループの **起業家精神** は直接的なコミュニケーションを育みます。そして **フィードバック** はコンプライアンス違反を通報しやすくするために自然な方法であり続ける必要があります。当社は、これが常に可能で現実的でないことも承知しているため、コンプライアンス違反の通報を行うためのさまざまな方法を提供しています。

人と自然を守るためには、コンプライアンス違反を通報することが不可欠です。また、それは現在および将来にわたって、当社の評判、成功、経営能力を維持するための鍵でもあります。コンプライアンス違反を通報することで、グループとそのバリューチェーンは状況に積極的に対処する機会を与えられます。

SPEAK UP ポリシーを定める理由

この **SPEAK UP** ポリシーの目的は、いつ、どこで、どのようにすれば、報復を恐れることなく、不正行為の疑いについてを通報できるかを説明することです。また、コンプライアンス違反を通報した場合にグループに期待されること、コンプライアンス違反を通報した後どのような措置が取られる可能性があるかについても説明しています。

本ポリシーは、L'OCCITANE グループとそのブランド内にグローバルな枠組みを提供することを目的としています。当社は多国籍、多ブランド、多文化企業であり、事業を展開している国のすべての法律を遵守しています。適用される法律と本ポリシーに定められた要件との間に矛盾がある場合、または異なる保護基準がある場合は、各国の法律が優先されます。

コンプライアンス違反を通報できる人

すべての人が倫理に責任を持っているため、本ポリシーは、以下を含む、世界中のすべての従業員および社外の利害関係者に適用されます：

- 従業員、インターン、請負業者

- バリューチェーンのサプライヤーとその従業員
- 顧客および見込み客
- コミュニティのメンバー

SPEAK UP チャンネルのユーザーは、誠実に行動し、故意に虚偽の申し立てをしてはなりません。つまり、報告の背後にある意図は、潜在的な問題を明るみに出すことでなければならず、悪意があったり傷つけたりすることであってはなりません。

その原則

信頼は、有効性とユーザーによる採用の前提条件であるため、**SPEAK UP** チャンネルは以下の4つの柱に基づいています：

- 通報者の保護
- 通報の誠実さと、通報の対象となった人物の無罪推定の考慮
- 通報の受理および処理に関与する当事者の良好な行動
- 事実と個人の身元の機密性の確保

L'OCCITANE グループは、報告者または **SPEAK UP** 報告の調査または是正に協力した従業員に対するいかなる形の報復も容認しません。報復とは、報告を提出したことに対する罰として、報告者に財政的、職業的、感情的な損害をもたらす行為です。

報告すべきこと

報告する前にポリシー違反や法律違反が発生したことを確信する必要はありません。また、報告する前に証拠を収集しようとししないでください。

ただし、通報内容がグループの **SPEAK UP** ポリシーの対象であることを確認し、誠実に行動する必要があります。全般的には、法律、規制および/または当社のビジネス行動規範の違反の疑いを**通報するために使用する必要があります**。

SPEAK UP チャンネルを使用して通報できる例：

- 人権侵害
- モラルハラスメントまたは身体的ハラスメント
- 差別
- 環境、健康、安全性に関する問題
- 贈収賄および汚職行為
- 不正行為および窃盗
- 利益相反
- 誠意を持って声を上げたことに対する報復

SPEAK UP チャンネルを使用すべきでない場合：

- 雇用条件または人事に関する苦情
- 個人的または法的紛争
- 生命または財産に対する差し迫った脅威をもたらす出来事（このような状況では、緊急サービスに連絡する必要があります）
- **L'OCCITANE** グループのブランドに関するご注文または経験に関する苦情（このような場合は、お住まいの国のカスタマーサービスにお問い合わせください）
- 虚偽と分かっている告発

コンプライアンス違反を通報するには？

コンプライアンス違反を通報する方法やチャンネルは複数あります。どの方法をお選びいただいてもかまいません。ご自身が最もやりやすい方法で通報してください。

また、状況の背景、問題の性質、潜在的な影響、当事者間の関係など、いくつかの要因によっても異なります。L'OCCITANE グループは、フィードバック文化の一環として、以下のいずれかの直接的なチャンネルを通じてコンプライアンス違反を通報することを強く奨励しています。

- 関係者に直接伝える

模範を示すことは、まさに当社のコアバリューのひとつであり、フィードバックは私たちの働き方の中核をなすものです。問題が単純で、直接のコミュニケーションによってすぐに解決できる場合は、即座に対処するのが最善です。それが不可能な場合、またはそうすることに抵抗を感じる場合は、他のチャンネルを通じて質問やコンプライアンス違反を通報してください。

- 信頼できる同僚（上司、人事部、内部監査チーム）

従業員が通報する際にアプローチすべき人物は、本来であれば直属の上司です。あるいは、所属部署の外にも、現地の人事チームやグループ内部監査チームなど、相談できる人物は複数います。上記の人物はどうすべきかについて非公式に助言することができる他、**SPEAK UP** 報告の提出をサポートすることもできます。

直接誰かに相談しにくい場合は、以下のルートを通して機密として報告してください：

- 現地の **SPEAK UP** チャンネル（L'OCCITANE グループ従業員専用、現地で利用可能な場合）

関連会社は現地レベルでチャンネルを設けることができます。従業員は各関連会社の監督下で運営されている現地の人事部または法務部に相談することができます。

- グループの **SPEAK UP** チャンネル

L'OCCITANE グループの **SPEAK UP チャンネル**を利用すると、違反の可能性を誰でも通報することができます。それは匿名の通報を保証する独立した第三者によって提供され、週 7 日 24 時間アクセスでき、世界の 70 以上の言語で利用できます。グループのコーポレートウェブサイト、電話またはモバイルアプリからアクセスできます。

グループの **SPEAK UP** チャンネルの使い方

- **オンラインプラットフォーム**を使用する：パスワードを作成する必要があり、ケース番号が発行されます。この番号により、通報のフォローアップや、調査チームとの連絡（匿名を選択した場合でも）が可能になります。報告書の更新状況を追跡するには、電子メールを残し（ソリューションプロバイダーが機密を保持し、L'OCCITANE グループには開示されません）、通知を受け取るか、パスワードとケース番号を入力してプラットフォームに再接続することができます。

- ソリューションプロバイダーのモバイルアプリバージョンを使用する（[Android](#)または [iPhone](#)）：グループの **SPEAK UP** チャンネルには、コード **116979** または **QR** コードでアクセスできます。パスワードを作成すると、報告書アカウントにアクセスするためのケース番号が提供されます。（匿名を選択した場合でも）このアカウントを通じて、携帯電話への通知、事件の最新情報、調査チームとのコミュニケーションが可能になります。
- **電話にメッセージを残す**（付録に記載されている番号）：グループの **SPEAK UP** チャンネルにコード **116979** でアクセスし、暗証番号パスワードを作成し、通報内容の詳細を現地の言語で音声メッセージを残すことができます。通話開始時にケース番号を知らせます。その番号に再度おかけいただくと、報告の進捗状況をご確認いただけます。

どのような情報を提供する必要がありますか？

通報を送信する際は、グループがあなたの通報内容を評価し調査できるように、できるだけ詳細な情報を提供してください。これには、以下が含まれます：

- 通報の背景、経緯、理由
- 関係者の身元および役職、日付、場所、その他の関連情報
- 通報を立証する可能性のあるすべての文書。

提供された情報は事実に基づいたもので、通報の対象に直接関連するものでなければならないことに留意してください。

報告プロセスは匿名で行われますか？

報告は、グループ外でホストされる外部ソリューションを介して、グループの **SPEAK UP** チャンネルを通じて匿名で行われます。これにより、報告を受け取り、審査するチームとの完全に匿名のやり取りが可能になります。本人確認を希望される場合、グループは本人であることを秘匿するために適切な措置を講じます。このような情報は、調査のために必要な場合、または適用される法律によって要求される場合、知る必要がある場合にのみ開示されます。

誰が通報に対応しますか？

L'OCCITANE グループの **SPEAK UP** チャンネルで受領されたすべての通報は、グループの内部監査チームのみがアクセスできるプロバイダーのケース管理システムに記録されます。

調査に必要な場合、その性質や必要とされる専門性に応じて、他の社内外の利害関係者（人事、法務、責任ある調達など）が関与することもあります。情報は、知る必要がある場合にのみ共有されます。このような人々は、特定の機密保持契約に拘束され、厳格な機密保持の下で業務を遂行します。このような調査に携わるすべての人は、実際のまたは認識された偏見や利益相反がないようにしなければなりません。

調査はどのように管理されますか？

報告の提出後、7 営業日以内に受領確認書をお送りします。通報の受領後、グループの内部監査チームは以下を行います。

- 通報事項を評価し、それが本ポリシーの範囲内であることを確認する。

- 報告書に調査のための最低限の実行可能な情報と証拠が含まれているかどうかを特定する。
- ケースの性質と必要な専門知識に応じて、トリアージプロセスに進む。

各報告書は、問題の責任ある取り扱いに必要な適切なレベルの時間、注意、リソースを使用して調査されます。審査と調査は、すべての関係者を尊重し、関連する法律、方針、原則に従って、独立、公正、公平な方法で行われます。

結果はどうなりますか？

L'OCCITANE グループは、合理的な期間内に調査を完了することを目指していますが、場合によっては長期間を要することもあります。通報が正当なものである場合、法律および当社のポリシーに従って、必要に応じて適切な措置が講じられます。

すべての調査報告書と付随する証拠は、グループの **SPEAK UP** プラットフォーム内で安全に保管されます。調査報告書は機密扱いとなります。報告者は、適切かつ可能な場合、調査手続きと全体的な調査結果について知らされます。

個人データはどのように管理されますか？

グループは、**SPEAK UP** チャンネルの一環として、個人データを収集し、処理して、報告を処理します。個人データの処理、お客様の権利、当社への連絡方法の詳細については、[当社の SPEAK UP プライバシーポリシー](#)をご覧ください。

Reinold Geiger
Chairman
L'OCCITANE Group

改訂履歴

日付	公開	作成者	トラッキングノート
2021年12月	1.0	グループ内部監査部門	初版（社内専用）
2024年10月	2.0	グループ内部監査部門	新しいソリューションプロバイダーによる更新（社内用および社外用）

付録

地域	電話による相談	地域	電話による相談
アルバニア	+355 4 530 1801	ヨルダン	80 023 801
アルジェリア	+213 983 29 93 38	カザフスタン	(+7) 877 2735 74582
アンゴラ	244 226 425 610	ケニア	+254 20 765 0957
アンギラ	18 334 222 005	大韓民国	+82 2 3700 5146
アンティグア・バーブーダ	18334222006	クウェート	96 522 055 730
アルゼンチン	+54 11 2039 7280	ラトビア	8 005 929
オーストラリア	+61 2 8284 6262	レバノン	8 338 160 193
オーストリア	800 909 683	リトアニア	880 030 366
バハマ	18 334 222 007	ルクセンブルク	3 523 420 808 982
バレーン	97 316 501 936	マレーシア	+60 3 7724 3136
バングラデシュ	+880 (0) 9610 998462	マルタ	80 065 144
バルバドス	+1 (246) 623 9631	マルティニーク	0800 90 1651
ベラルーシ	882 004 910 089	モーリシャス	+230 5 297 0999
ベルギー	0800 89 326	メキシコ	+52 55 4780 6198
ベリーズ	18 000 130 076	モルドバ	80 060 016
ベニン	+229 20 90 0380	モロッコ	+212 5 30 14 41 08
バミューダ	18 334 222 008	ミャンマー	8 008 008 062
ブータン	+975 2 379 003	ナミビア	+264 83 380 0103
ボリビア	800 105 122	ネパール	18 000 010 186
ボスニア・ヘルツェゴビナ	+387 70 330 093	オランダ	+31 10 700 75 03
ボツワナ	8 007 861 103	ニュージーランド	+64 9 913 5892
ブラジル	+55 (11) 4700 8838	ニカラグア	50 575 137 610
ブルネイ・ダルサラーム	8 014 657	ナイジェリア	7 080 601 221
ブルガリア	8 002 100 645	北マケドニア	38 925 513 216
ブルキナファソ	+226 25 30 09 82	ノルウェー	+47 24 14 06 01
カンボジア	1 800 209 867	オマーン	80 074 161
カメルーン	+237 6 57 10 31 12	パキスタン	80 090 044 437
カナダ	+1 (514) 395 0496	パナマ	5 073 084 480
ケイマン諸島	+1 (345) 769 5580	パプアニューギニア	861 322
チリ	+56 22 483 5917	パラグアイ	98 004 410 266
中国	1080 0152 3042 (China Telecom 経由のフリーダイヤル)	ペルー	80 074 535
中国	1080 0852 2221 (China United Network 経由のフリーダイヤル)	フィリピン	180 083 948 474
中国	400 120 1842 (全国共通番号、市内通話料金)	ポーランド	800012953
コロンビア	576 012 421 247	ポルトガル	800 831 302
コスタリカ	50 640 360 350	プエルトリコ	+1 (787) 200 7305
コートジボワール	+225 05 66 77 0918	カタール	800 101 094
クロアチア	8 007 745	レユニオン	1 800 916 980
キプロス	80 091 142	ルーマニア	800 400 653
チェコ	800 050 833	ロシア連邦	8 (800) 100 69 94
デンマーク	+45 43 31 09 61	サウジアラビア	8 008 501 433
ドミニカ	18 334 221 998	セルビア	+381 10 520 043
ドミニカ共和国	+1 (829) 947 1996	セイシエル	800 131
エクアドル	1 800 001 432	シンガポール	6 564 037 051
エジプト	8 000 000 083	スロバキア	800 113 418
エルサルバドル	50 322 304 752	スロベニア	80 083 115
エストニア	3 726 093 008	南アフリカ	+27 (21) 427 7937
エチオピア	800 86 1919	スペイン	34 900 031 156
フィジー	8 002 650	スリランカ	+94 (72) 091 0370
フィンランド	800 392 912	スーダン	+249 15 655 9883
フランス	805 543 753	スリナム	8 338 160 919
フランス領ギアナ	0800 99 1448	スウェーデン	201 604 703
フランス領ポリネシア	0800 91 4886	スイス	800 005 691
ジョージア	1 800 008 013	台湾	+886 2 7743 8912
ドイツ	8 001 818 952	タンザニア	0800 11 1020
ガーナ	+233 59 699 3553	タイ	+66 2 844 9693
ギリシャ	80 044 145 924	トリニダード・トバゴ	+1 (868) 224 1869
グレナダ	+1 (473) 230 0333	チュニジア	+216 31 300 338
グアム	18 338 096 777	トルコ	800 448 828 602
グアテマラ	50 223 028 459	タークス・カイコス諸島	18 334 621 355
ホンジュラス	80 027 916 139	ウガンダ	+256 41 423 8162
香港	85 230 194 193	ウクライナ	800 801 205
ハンガリー	06 809 845 89	アラブ首長国連邦	80 004 440 408
アイスランド	3 544 150 349	イギリス	8 000 224 118
インド	8 000 503 159	アメリカ合衆国	+1 (669) 288 7154
インドネシア	+62 21 8063 0074	ウルグアイ	415 985 762
アイルランド	1 800 800 636	ベネズエラ	582 123 357 722
イスラエル	97 233 741 225	ベトナム	8 419 003 271
イタリア	800 147 694	バーゼル諸島 (英国領)	18 334 621 356
ジャマイカ	+1 (876) 677 9125	ヴァージン諸島 (米領)	18 337 246 398
日本	+81 3 6627 0734	ジンバブエ	2 638 677 422 010